

より容易でより安全な建設のためにGCP を活用する製造施設

STRUX® 合成マクロファイバーは、製造施設の床を強化するための完璧なソリューションを提供します。



プロジェクト	Manufacturing Plant、パインヴィル、ルイジアナ州
コンクリート供給会社	TXI Inc.、アレクサンドリア、ルイジアナ州
コンクリート請負業者	Imperial Concrete、シャンペーン、イリノイ州
GCPのソリューション	STRUX® 合成マクロファイバー

概要

プロジェクト

洗剤から床クリーナー、シャンプー、処方箋薬まで、家庭用品には梱包が必要です。プラスチック容器製造の世界のリーダーの1人が主要顧客の1社にサービスを提供するためルイジアナ州中部に進出する必要があったとき、それは新しい製造施設の建設が必要であることを意味しました。

建物の設計は重要であり、重い製造設備を支えるために必要なフロアの性能を、特別に配慮しました。



このプロジェクトでは、最初にプラントのスラブオンコンクリートフロアに、スチールファイバーを指定しました。スチールファイバーは、長年これらの用途に使用されてきました。しかしながら、TXIのエリア・マネージャーであるKevin Williamsがプロジェクトのコンクリートを供給するように求められたとき、彼は製造施設の床を建設するためにさらに優れた方法があることを知っていました。

同社はすでにマクロファイバーを使ってスラブを設計していましたが、溶接金網をプロジェクトから除外しても、スチールファイバーはまだ費用の支出と仕上げの問題を抱えていました。Kevinは、費用対効果の高い価格で高い長期性能が要求されるため、スチールファイバーをSTRUX®合成マクロファイバーに置き換えることを推奨しました。

実際、このプロジェクトではSTRUX®90/40がより良い性能を発揮する機会を提供し、プロジェクトのコンクリート請負業者であるImperial Concreteがすぐにオーナーに見積もりを依頼しました

製造施設のオーナーは、マクロファイバーがスチールファイバーに比べて優れていることを認め、STRUX®への切り替えを迅速に受け入れました。

独自のポリマーブレンド製である、STRUX®90/40合成マクロファイバーは、コンクリートスラブ・オン・グラウンド用途でスチールファイバー、溶接金網、軽い鉄筋およびその他の二次補強材を置換するために設計された特許権を有する高強度合成単一繊維です。

旧来の「マイクロ」ファイバー補強材とは異なり、STRUX®90/40は、これらの用途で高いポストクラック制御性能を提供するように特別に設計されています。STRUX®90/40は、フィールドで簡単にバッチ処理と仕上げができる150psiを超える平均残留強度値を確実に達成することが示されており、また他のタイプの二次補強材よりも簡単で安全です。

成果

製造施設のオーナーは、マクロファイバーがスチールファイバーに比べて優れていることを認め、STRUX®への切り替えを迅速に受け入れました。

独自のポリマーブレンド製である、STRUX®90/40合成マクロファイバーは、コンクリートスラブ・オン・グラウンド用途でスチールファイバー、溶接金網、軽い鉄筋およびその他の二次補強材を置換するために設計された特許権を有する高強度合成単一繊維です。

旧来の「マイクロ」ファイバー補強材とは異なり、STRUX®90/40は、これらの用途で高いポストクラック制御性能を提供するように特別に設計されています。STRUX®90/40は、フィールドで簡単にバッチ処理と仕上げができる150psiを超える平均残留強度値を確実に達成することが示されており、また他のタイプの二次補強材よりも簡単で安全です。

gcpat.jp | 日本の顧客サービス : 81 3 5226 0231

GCP Applied Technologies Inc., 2325 Lakeview Parkway, Suite 400, Alpharetta, GA 30009, USA

GCP ケミカルズ株式会社 〒243-0807 神奈川県厚木市金田 100 番地

この文書は、下記の最終更新日現在のものであり、日本でのみ有効です。使用時に最新の製品情報を提供するには、以下のURLで現在入手可能な情報を常に参照することが重要です。Contractor Manuals、Technical Bulletins、Detail Drawings、詳細勧告などの追加資料や関連資料は、gcpat.jpでも入手できます。他のウェブサイトにある情報は、最新のものではなく、あなたの所在地の条件に該当しない可能性があり、その内容に関する一切の責任を負いません。競合が発生した場合、または詳細情報が必要な場合は、GCPカスタマーサービスにお問い合わせください。

Last Updated: 2023-07-12

gcpat.jp/about/project-profiles/manufacturing-facility-utilizes-gcp-easier-and-safer-construction